

きほく川柳会

キリギリス汗もかかずに夏は過ぎ
暖簾守る汗も涙もあるドラマ
母と娘で汗を流して野良仕事
大宇宙で私が寝起きする不思議
妻の持つとても不思議なテレパシー
梅雨になると不思議持病が目を覚ます
アラ不思議黒いネコから白いネコ
黒先手負けてなるかと打つ碁盤
半襟の白が目にしむ喪主の席
黒梓の父に今でも励まされ
氣を抜けば不思議と騒ぐ人の郡
若者の盆の帰省に村が沸く
霧の兵若い二人におぼろ月
ナツメロを聞くたび思う若い頃
散髪でしばし四五歳若返る

若宮 賢敬
清家 厚美
大沢和希子
兵頭 紀子
宇都宮 孝
宮脇マサエ
大野モモエ
水野 貞子
宇都宮七郎
渡辺 光男
栗木 一郎
武田 浅美
大本ミヤ子
芝 幸子
松本 実
小越 安隆

広見短歌会

一面に早苗のゆらぐ農道を宅急便走る母の日近し
年毎に子等に送りし筈を従姉妹等掘りて送りてくれぬ 山本まつゑ
朝刊を配るバイクの音が去りふたたび戻る雨だれの音 須藤ヒサエ
逢うたびに施設の姉は変り行く笑顔も声も手をふることも 伊手リツエ
黒板の「お母さまのうた」眺めつつ歌友らと共にメロディーに酔ふ蛭谷 寿子
とりどりに花咲く春に和みつつ命みじかき哀れさもしりぬ 二宮 安恵
我が誰か解らぬものかと思いつつ今日も夫の口髭を剃る 渡辺キヨ子
祝い事そのたび作るお赤飯ゆげの向こうに侍せ思う 橋本 加代
置き忘れ仕舞忘れ多くなるされど三度の食事わすれず 渡辺八千代
かつこうの声聞きながらお茶をつむ五月の風のさわやかなりき兵田トミ子
雨の午後糸さしきれし針たより衣つくろい訪ふ人もなく松崎 静香
患者らと輪投げに興じし日もありき白き巨塔に鬱を病みいて 武田 幸子

佐々木登美子

佐々木登美子

大きくなったら

泉小学校

